

# 茨城町新たな文化的施設整備基本設計業務委託に係る 公募型プロポーザル審査結果（講評）

令和3年10月20日付け茨城町公告101号により公告した、茨城町新たな文化的施設整備基本設計業務委託に係るプロポーザル（以下「プロポーザル」という。）について、下記のとおり最優秀提案者及び優秀提案者を特定しましたので公表いたします。

## 1. 審査結果

最優秀提案者 株式会社 岡田新一設計事務所  
優秀提案者 株式会社 新居千秋都市建築設計

## 2. 審査経過

本プロポーザルは、令和3・4年度茨城町入札参加資格者名簿に登録された一級建築士事務所を対象とし、同種又は類似の設計業務の実績を有すること等を参加資格要件として公募したところ、10者から参加表明がありました。

審査は2段階方式で行われ、第1次審査においては、提出された参加表明書及び関係書類について評価を行い、第2次審査のヒアリング実施者6者を選定しました。第2次審査においては、業務実施方針、特定テーマに対する技術提案のプレゼンテーション及びヒアリングの結果により総合的に評価を行い、最優秀提案者及び優秀提案者を特定しました。

### (1) 審査スケジュール

令和3年	10月20日（水）	公募開始（実施要領等の公表，配布開始）
	11月4日（木）	参加表明書の提出期限
	11月12日（金）	第1次審査（書類審査）
	12月27日（月）	技術提案書の提出期限
令和4年	1月12日（水）	第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

### (2) 選定委員会の設置

審査は、公平性及び透明性を確保し専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者を含む6名の委員で構成される茨城町文化的施設設計者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において行いました。

#### 【委員の構成】

委員長	小林 弘文	茨城町副町長
副委員長	成田 和彦	元茨城大学工学部都市システム工学科准教授
委員	長洲 勝也	元茨城県民文化センター副センター長
委員	矢口 和美	茨城町教育委員会教育長
委員	佐久間 洋	茨城町都市建設部長
委員	長洲 茂広	茨城町教育委員会教育部長

(3) 選定委員会の開催経過

① 第1回選定委員会

日 時：令和3年10月5日（火）14：00～15：15

場 所：茨城町役場 2階大会議室

出席者：6名（全員）

内 容：

i) 委員長及び副委員長の選出について

委員長に小林委員を副委員長に成田委員を選出しました。

ii) プロポーザル実施要領について

参加資格要件，実施スケジュール及び技術提案を求めるテーマ等について協議しました。

iii) 特定方法及び評価方法について

審査の評価事項，評価基準，選定及び特定方法について協議しました。

② 第2回選定委員会

日 時：令和3年11月12日（金）13：30～14：45

場 所：茨城町役場 2階大会議室

出席者：6名（全員）

内 容：

i) 第1次審査（書類審査）

参加表明のあった10者について，第1次審査の評価事項（事業者の評価（有資格者数の状況，同種・類似の設計業務の実績），配置技術者の資格（専門分野の技術者資格），配置技術者の技術力（同種・類似の設計業務の実績の有無及び携わった立場））をもとに評価を行った結果，第2次審査におけるヒアリング実施者として6者を選定しました。

③ 第3回選定委員会

日 時：令和4年1月12日（水）9：00～15：45

場 所：茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」 2階視聴覚室ほか

出席者：6名（全員）

内 容：

i) 第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

第1次審査を通過した6者を対象にプレゼンテーション（20分以内）及びヒアリング（10分程度）を行いました。評価は，6名の委員が第2次審査の評価事項（業務実施方針及びテーマ（業務の理解度及び取組意欲，業務の実施方針，特定テーマに対する技術提案））をもとに採点を行い，各委員の評価点を項目ごとに集計し，各提案者の評価点（委員6名の平均点）を算出しました。

ii) 全体審査

上記の評価結果を踏まえて議論を行い，選定委員会の総意として最優秀提案者，優秀提案者を特定しました。

### 3. 審査講評

本プロポーザルは、「(仮称)茨城町新たな文化的施設」の基本設計にあたり、4つの特定テーマに関する技術提案をもとに、設計者や設計組織(チーム)の柔軟かつ高度な発想力、確かな技術力や設計能力、これまでの経験に基づく豊かなノウハウを持ち合わせた最適な設計者を業務委託先として特定するものであることから、審査を行う上で、主に次の点に着目して審査を行いました。

まず、建築計画としては、茨城町新たな文化的施設基本構想における3つの基本方針を踏まえた諸室構成であり、活動の見える化が図られるとともに、交流が自然と生まれ、日頃からにぎわいの創出が期待できる諸室配置の考え方について確認しました。

次に、施設配置計画としては、周辺建築物の景観と調和し、茨城町らしさや、過ごしやすさを感じさせる外観デザインであり、利用者が安心して利用できる動線、役場庁舎やゆうゆう館との回遊性に優れた施設配置の考え方について確認しました。

また、防災・減災対策としては、人命の安全確保に加えて避難所としての機能確保が図られ、施設の浸水対策や、洪水災害時に緊急的に一時避難ができる方策について確認しました。

最後に、コスト低減等としては、施設のZEB化を推進する方策に加え、建設コストの削減や、維持管理費の抑制策、SDGsの実現に向けた取り組みや施設が地域社会において果たす役割について確認しました。

技術提案の内容と併せて、本業務に対する実施体制や、町民ニーズの反映方策、また、プレゼンテーション及びヒアリングを通して提案者の取組意欲についても確認し、それらを総合的に評価しました。

その後、選定委員会での協議の結果、最終的に最優秀提案者と優秀提案者を特定しましたが、各者とも豊富な設計実績を有しており、技術提案書のレベルは非常に高く、各者の評価点に差がほとんどなく甲乙付け難いものとなりました。

最優秀提案者の案は、敷地全体を、建築物と広場が一体的に利用する配置計画とし、南西に中庭的なイベント広場を配置、既存の町民広場は交流が促進されるにはやや幅広と考え、人々が利用しやすい具体的な幅を提案しており、町民広場と新たな文化的施設及びイベント広場が連動して交流を促進するという提案が魅力的であると評価しました。

具体的には、ゆうゆう館、役場、新たな文化的施設の3つの施設の回遊を促進するため、施設内を南北に貫くメインストリートと、町民広場とイベント広場を繋ぐ通路の2つの軸線を提案しており、メインストリートと各諸室がオープンに接続した平面計画は、多世代の交流が期待でき、基本構想の3つの基本方針の実現が期待できるものと評価しました。また、地域の防災拠点としての利用についても具体的な提案がなされているほか、屋上テラスを浸水災害時の垂直避難場所とするなど、防災・減災面においても機能的であると評価しました。特に、町民ワークショップは、設計段階だけでなく、工事段階からオープン後まで具体的な活動を支援するという提案は、町民と共につくるという観点において、非常に優れていると評価しました。その結果、全体を通して本提案を高く評価し、最優秀提案者となりました。

優秀提案者の案は、町民広場の北側に「和の庭」を配置し、和室と和の庭が調和した建築とするなど、非常に魅力的な提案と評価しました。また、イベント時には若者や子育て世代と高齢世代の交流促進が期待できる計画としており、外観はホール上部に向かい段階的に高くすることにより周辺と調和し、かつシンボリックなデザインを計画しているなど、独創的な提案を評価し、優秀提案者となりました。

残る4者については、基本構想の3つの基本方針である、町民が文化芸術活動を行える場、文化芸術に触れる場、多様な交流が生まれる場については、各者とも、様々な創意工夫を凝らした提案がされていましたが、交流促進を図る方策や地域の防災拠点としての考え方、維持管理を含めたコストパフォーマンスの考え方などで評価が分かれたことから、上位2者を評価するに至りました。

#### 4. おわりに

プレゼンテーションでは、すべての提案者において管理技術者が説明に加わり、必要に応じて意匠担当、構造担当、設備担当に加えてホール専門業者等が出席しており、各者とも業務に対する誠実な執行が認められました。

新たな文化的施設にはゆうゆう館、役場との回遊性が求められ、町民広場との関係が評価の大きな要素となりました。1者以外は既存の町民広場を概ね残し、ゆうゆう館前の広場からの連続性を考慮した提案がなされ、施設の核となるホールについては、いずれの案も本格的なコンサートから町民による発表会、展示会などの平土間利用にも対応できるなど、開催用途の幅を広げることが可能であり、基本構想の3つの基本方針の実現が期待できる計画となっていました。

また、交流促進については今回選出されなかった案においても、広場とホール、各諸室を開放的に連結する、ドマ、縁側など魅力的な提案がなされており、有意義なプロポーザルであったと考えます。

本プロポーザルの審査結果に基づき、最優秀提案者となった設計者におかれましては、茨城町のために持てる技術力を余すことなく発揮していただき、町の新たなシンボルとなり、町民に親しまれる施設となるよう、設計業務に尽力されることを切に願っております。

最後に、本プロポーザルに参加していただいた10者の設計事務所の皆様におかれましては、厳しいスケジュールの中、茨城町のために技術提案書の作成等に貴重な時間を費やして頂いたことに対しまして、選定委員一同心より敬意を表し感謝するとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

令和4年1月31日

茨城町文化的施設設計者選定委員会  
委員長 小林 弘文